マッサージの指がナカまで深く…
幼馴染はもうやめた。1
ヤナトミ

「幼馴染はもうやめた。」マッサージの指がナカまで深く…

第　1　話

ここかー
新しくできた
整体院って
先輩に激推し
されたから
仕事終わりに
早速来ちゃった
けど…
早坂さんあんた
コレやばいわよ!!
良いとこ教えて
あげるから行ってきな!
すご。
ははは
ずら〜
人すご!
もう夜なのに…
評判いいって
ほんとなんだ
若い子が
珍しいわね
最近
肩こりが
ひどくて〜
ちやほや
あら
そーなの〜
でもここの
先生とっても
腕がいいから
大丈夫よ!
こちらもあるよ
おかし食べる?
おまけにすごく
かっこいいのよ
おかげでいつも
混んでて予約
取るの大変
なんだから〜
もぐもぐ
次の方
どうぞー
ガラッ

お前なんで
ここに…
えっ
ハッ
どうして
私の名前…
…っ
結季…
川瀬…
ちかひと…？
院長
川瀬　史人
まさか
もしかして…
ってて
——っ
すごく
綺麗な人…
この人が先生…？
確かにハッと
するくらい
ドキ

ちかちゃん？
ちかちゃんなの!?
ばっ お前
その呼び方は
よせって
まぁまぁ先生
いいじゃない
診てあげれば
この子ひどい
肩こりなのよ
…とにかく帰れ
お前の来るような
ところじゃないし
今日はもう
予約でいっぱい
なんだよ
そんな…！
せっかく
久しぶりに
会えたのに！
うそ…
ほんとに
ちかだ…！

…知ってます
昔っから
そうでしたから
お願い！
また昔みたいに
マッサージして？
幼馴染の
よしみでさ！
ったく…
言い出したら
きかないところも
変わってないな
お前まだ
実家か？
そうだけど
わかったよ
施術してやる
やった！
ただし
条件がある

ただし仕事が
終わってからだ
今日は予約が
詰まってるから
先に家で待ってろ
しっ
しっ
って遅いよ
ちか〜
ゴロゴロ
…久しぶりに
会えたのに
なんだか
冷たいし…
私は嬉しかった
のにな…
昔はよく
マッサージ
してくれたっけ

やっぱり
ちかちゃんの
マッサージが
1番だなぁ
お前いい加減
ちゃん付け
やめろって
はぁい
ごめんね
いいじゃん
固いこと
言わないで
もう染み
ついちゃって
いまさら変えられ
ないよー
あのな…
あ…そこ
すごい
気持ちいい
ドキ

ねえ聞いて！
私今日生まれて
初めて告白
されちゃった！
すごくない？
告白…？
まぁでも
知らない人
だったし
好みじゃ
なかったから
ごめんなさい
したんだけどね
…じゃあさ
俺は
どうなの？
え～ちかちゃん？
あはは ないない
だって幼馴染だし
家族みたいなもの
だもん！
ギュッ…
そう…
かよ…
…今日は
もう終わり
早く帰れ
ゴロン
えっ!?
どうしたの
いきなり
き…
結季！
ん…

おい起きろ結季
あれいつの間に…どうやって入ったの？
おばさんに入れてもらったんだよ
おじさんもおばさんも相変わらず元気だな
つーか頼んどいて勝手に寝てるなよ
ったくなんで仕事のあとにまたマッサージなんか…
そんな言い方しなくてもいいじゃん
私は久しぶりにちかにマッサージしてもらえるの楽しみにしてたのに…
……
やっぱり迷惑だったのかな…
ほら用意できたから横になれよ
あ…うん
ギシ…

髪よけるぞ
うん
…大体お前
この状況わかってんの？
部屋で男と2人きりでマッサージって
なんとも思わないのかよ
男…って
ちかってばなに言って…
だだってここ実家だし下にお父さんもお母さんもいるし
ドキドキ
それに私とちかは幼馴染なんだからなにかあるわけないじゃん
……
幼馴染…ね
え？
まぁいい始めるぞ
バッ

お前相変わらず体バキバキだな…
デスクワークしてるとさらに凝っちゃって
腕がなるよまったく
強くするから痛かったら言って
うん
グッ
ぐっ
ぐっ
あ…この感じ
ん…
懐かしい
ギュッ
大きくてあったかいちかの手だ
昔と変わってないな…
気持ちいい…

すごいね
ちかは
なにが？
小さいころ
からの夢を
叶えて
俺もっと腕
磨くよ
そしたらお前の
ひどい肩こりも
ちょっとは
治してやれるしさ！
またこうして
ちかのマッサージ
受けられるなんて
院長にまでなって…
ほんとにすごいよ
夢みたい
すごく
嬉しいよ
結季…
でも
わからない
ことがあるの
どうして
進学するとき
なにも言わずに
引っ越しちゃった
の？
なんで何も
言ってくれ
なかったの？
その後もたくさん
連絡したのに
返事くれなかった
のはどうして…？
あのさ
ちか…

これ外すぞ
ブいっ
えっ…
ちょ なに!?
馬鹿
勘違い
するなよ
つけたままだと
金具で体に
キズがつくかも
しれないだろ
あ…
なるほど
でもさすがに
これはちょっと
恥ずかしい…
布越しじゃなくて
直接ちかの手が
ドキ
ドキ
グッ
背中に触れて…
スル…

体…
熱くなってきたな
マッマッサージで体温上がってるからかな…
ドキッ
恥ずかしくて熱くなってるなんて言えない…！
ちちかそれ…
くすぐったいよ

気持ちいいだろゆっくり撫でられるの
でも…
んっ
これも脱がすぞ

えっ!?
ちょっ
やだやだ!
ぐいっ
それは
いいから…!
うるさい
ちゃんと
できないだろ
なに恥ずかし
がってんだ
俺たちただの
幼馴染だろ?
そうだけど…
こんな…っ
……

こっちも
むくんでるな
ほぐすから
オイル使うぞ
え…
ぷくん
すろ…
ひゃあっ
冷た…！
ビクッ
とろ…
すぐ温まるから
最初だけ
我慢してくれ
ぬる…

えっ…
ぬるっ…
むにゅ
次下するから
ぬるるる
ぐぐ
んっ
はぁ…
はぁ…
…っ
やだ…マッサージのハズなのに…
じわ…
ちょっとそこっ…
胸にあっ
このあたり胸とか脇辺りは肩こりに効くツボがあるんだよ
ぴくぴくん

なんか
さっきから
ちかの手が…
もじ…
は…
はぁ…
ん…
ぬる…
ビクン
あっ
声が…
これって本当に
マッサージ…？
はぁ…
はっ…
ん…

ちか…！
はぁ…
ドキン
ハッ
パッ
カァ
…っ

結季…
ドキン
ぎゅっ
……？
終わったのかな…
ちか？

次 表側の
施術するから
こっち向いて
えっ…
くいっ
きょ 今日は
もういい…
表側って…
もしかして ちか
このまま私のこと…
はぁ？
あんなにして欲し
がってたくせに
なに言ってんだよ
して欲しがって
なんか…！

マッサージ
…っ
それとも何
する…
すりっ
して欲しがってた
だろ？
マッサージで
変な気分に
なってたのか？
カアッ
――っ

…っいいから早く帰って
ぐっ
パシ
誤魔化すなよ
ギャン
グイッ
なっ…
ドサッ
ちょっとやだ離してってば！
胸が…！

すごい力
びくともしない
…っ
ちかっ
昔は私と
変わらない
くらいだった
のに…！
やめて…！
結季…
俺はいつまで
お前の幼馴染
なわけ？
ドクン
知らない
ちかの
こんな
表情も
声も
ち…か…

全部初めて——
んうっ…
ち…
か…っ
ぷはっ
まっ…て
ふう…
んっ
ん…
は…

あっ
びくん
れろ
や…
はぁ…
ちゅう
ちゅ
あっ
ちか…！
ぢゅっ
びく
びく
めて…！
ん…
本気で嫌なら
蹴り飛ばしたり
大声だせよ
はぁ…
下におじさんも
おばさんも
いるんだろ
……っ
ふるふる
そんなことできるわけ…！

んっ
っ…
ん
抵抗しないんだな
だっ…て
体に力が入らない…！
こんなに濡らしてるくせになにがダメなんだよ
ダメ？
待ってちかそこはほんとにダメ…！

中も熱くて
トロトロ…
やっぱり
マッサージ
してるときから
感じてた？
ちがっ…
やっ…
あ
ちか…
なんでこんなこと
するの…？
……
…自分で
考えてみろよ
あっ！

ちかっ…
待っ…て
やだ…
そんなっ
したら…
どうして
こんな…
もう…！
久々に会えたから
嬉しくて
ただ昔みたいに
マッサージして
欲しかっただけ
なのに…
結季…
このままじゃ私…
ちかと
ヒクン

「幼馴染はもうやめた。」マッサージの指がナカまで深く…(1)

著者　ヤナトミ
発行　スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

拒めない…ドS彼氏に乱されて…

ティスクリーモ

TEENS LOVE ♥ SCREAMO

マッサージの指がナカまで深く…
幼馴染はもうやめた。2
ヤナトミ

「幼馴染はもうやめた。」マッサージの指がナカまで深く…

第2話

はぁ…疲れた
トボ
トボ

昨日のことばっかり考えて仕事に全然集中できなかった…
おかげで残業だし
いてて足パンパン
流されちゃってあんなことになっちゃったけど
これからどんな顔して
ちかに会えば…

あれ…こんな時間なのにお隣いないのかな…
電気ついてない
そういえばちかもしばらく実家に戻るって言ってたけど…

…
今会ってもどんな顔すればいいかわかんないし…
くるっ
考えるのはやめよう

ただいまー
おかえり遅かったな
ちょっと残業で…

なっ
なん…!!
!?
なんでちかが私の家に…!?
お邪魔しました
まてまてお前の家はここだろ
ガシッ
エプロン!?
俺たちの親が今日から旅行だってさ
そっ
そんなの聞いてない!
俺も今日聞いたんだよ
結季のことよろしく頼むな!
あとはよろしくね! 史人
結季ちゃんと仲良くな!
ちかくんが帰ってきてくれたからこれで心置きなく結季を置いて旅行に行けるわ~!
はぁ…
ポン!
ホホホ♡
いくら親同士が仲いいからって…
頭イタ…
せめてひとこと言ってよ お母さん お父さん…!!

お前相変わらず料理も何もできないんだろ？
目玉焼きすら焦がしてたし
つーか燃やしてた
きゃあー
よみがえる思い出
うわあああ
うっうるさいな！
何やってんだバカ
だからお前の面倒みるように頼まれたんだよ
ボオッ
飯まだだろ今作ってるから先風呂入ってこいよ
ちょっと…！
待ってよちか
あんなことされてはいそうですかってわけにいかないでしょ…！
…飯作ったら帰るから
ピク
…っ

なによ…
ちかってば…
あんな顔されたら
怒るに怒れない
じゃん…

ていうか結局家に
あげちゃってるし
流されすぎ
だよ私!!
ぶく
ぶく
ぶく

…自分で考えてみろ
なんて
そんなの
わかんないよ…
チャプ…

それに…
本気で嫌だって
思えなかった
相手はちかなのに
どうしちゃったんだろ
私…

ちか？
お風呂
出たけど…
いい匂い
わ…
美味しそう！
全部ちかが
作ったの？
そうだよ
私の好きなもの
ばっかり
ほら冷めない内に
食おうぜ
えちかも
まだだったの？
…もしかして
待っててくれた？
覚えてて
くれたんだ…
…一緒に
食っちゃ
悪いかよ
ううん
一緒に
食べよ！

ふふふ
なんだよ
んーん？
ちかちゃんは
可愛いなーと
思って
お前な…
いただきまーす♡
…
ったく…
変な感じ

昨日あんなことが
あったのに
普通に話せてる
ちかも何も
なかったみたいに
喋ってるし
そうだよ
ちかと私って
こんな感じだよね！

他愛もない話で
楽しくお喋りして…
毎日楽しかった
あの頃に
戻ったみたい…
ごちそう
さま！

ちかってば
マッサージだけ
じゃなくて
料理の腕まで
あげちゃったの？
美味しくて
食べすぎ
ちゃったよ
ぷはー
クス
そりゃよかった
ドキ
…っ
お前疲れてる
だろ？
後全部やっとく
からそのまま
座ってろよ
ううん
ありがと…
びっくりした
ちかってあんな
顔もするんだ…
あのさ…ちか…
ジャー
ん？
昨日みたいなこと
誰にでも
してるの…？
やえっと
今のは…！
ガタッ
私ってば
なに言って…！

お前にしか
したことない
って言ったら
どうする…？
え…？

ちょっと
ちかっ…
また…!
離して…!
なぁ
どうなんだよ
そ
れは…
結季
口開けて…
ビク
れろ
ちゅ
…っ
んんっ
ちか
やめて…っ
だめ
流されちゃ…!

…っ
ビクッ
ひゃあっ
くにゅ
やっあ
だってそれはちかが…っ
大切な存在だから
幼馴染…だから…っ
あっ
お前にとって幼馴染って
そんなに大事なことなのかよ…っ
せっかくまた会えたのに離ればなれになるなんて
また幼馴染…！
ギリッ
嫌だから…
あっ
…お前こそなんで昨日無理やりにでも抵抗しなかったの？
ちょ…っ
ほんとに嫌だったら大声だして助けてって言えばよかったのに

なんで…
なんでそんなこと言うの!?
大事に決まってるじゃん!
ちかはそうじゃないの…!?
グイッ
——っ!
じわ…
その大事な幼馴染に触られて感じてるのは誰だよ…!
ドサッ
違う
俺はこんなことが言いたいんじゃない
ん…っ
グッ
ひぁぁっ
ビクビク
はぁ
あっ
ん…っ
ほら こんな反応してこんな声あげて
まだ幼馴染扱いすんの?
ただお前のことが…

まだ下着の上からしか触ってないのにもう濡れてる
やらしいな結季は
言わな…いでっ
やだぁ…っ
直接触ってほしいだろ？
腰揺れてる
あっ…!?
ねちかもうやめよ？
さっきの質問に答えるまでやめてやらない
だからそれは…
やだっ…ちか…
ぁんっ！
急に…ゆびっ…！
んんっ

ここ擦るといい反応するよな結季
こすこす
ぐぷぷ
ぐぷ
あっ
っひぅ…！
ビクッ
奥っ…
やぁ…！
ぐちゅ
ぐぷ
やぁ
好きなくせに
ふりほどきたいのに…
このままじゃ…！
考え事か？余裕だな…
ぐぃッ
ああっ！
ぐちゅ
ぐちゅ
やっ
あ
きゃっ…！
なに？急にすごい濡れてきたけど
もしかして後ろからされるの好き？
あんっ
ちが…！
だめっ…えちか…！
へぇ…知らなかったな
じゃあいっぱいしてやるよ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぬぷ
ぷぷ

ああっ…！
ビクン
やっだめ
ダメッ
ゾクゾク
ちゅっ
ちゅく
じゅる
はあ…
イッ…ちゃう
…からっ…！
びくっびくん
あっ
ビクッ
きゅうううう
やっあ
ひくっひくっ
おっと
…拭いてやるから
ちょっと待ってろ
パンツ
する

ビクッ
お願い…
ポタ
帰って…
ゆ…
き…

フニ
グッ
ごめん…
キィ…
パタン
ハッ
ちかにとって
私ってなんなの?
ただこういうことが
したかっただけ?
ちかの本当の
気持ちを
知りたいのに
その先を
知るのが怖い…

なんでそんなこと言うの!?
大事に決まってるじゃん!
ちかはそうじゃないの…!?
ありがとねぇ～川瀬先生
おかげでだいぶよくなったわ
そうですかよかったです
これで当分悪化することはないと思いますがくれぐれも無理はしないようにしてください
はいはい気を付けます
あそういえばこないだの女の子あの後マッサージしてあげたの?
え?
なんだか親しい仲みたいだったから気になってたのよ
そうなのね可愛い子じゃない!
…幼馴染なんです
私たちみたいなおばさんとも楽しくお喋りしてくれたのよ

昔から気さくで
明るくて
誰からも好かれる
ようなやつなんです
いつも笑顔が
たえなくて
一緒にいると
こっちまで自然と
笑ってしまう
ような…
もうずっと会って
なかったんで
まさかこんな
ところで再会する
とは思いませんでしたが…
ふふ
先生ったら
よっぽど彼女が
好きなのねぇ
顔に
出てるわよ
えっ!?
……
カァ
…はい

その様子じゃ
まだ気持ちは
伝えてないみたいね
ああいうタイプは
ハッキリ言わないと
伝わらないわよ？
あらあら
もちろん
わかってる
でも
どうしても
結季の前だと
素直になれない
言葉が上手く
出ないまま…
行動だけが
空回りしてる…
先生にこんなに
愛されてる彼女が
羨ましいわね
家を出たときから
もう二度と
会うつもりなんて
なかったのに
俺は…

わいわい
なにが
イケメン整体師よ…
そりゃ油断してた
こっちも悪いけどさぁ…
ひっく
そんな奴
忘れちゃいなよ！
ほら
飲んで飲んで！
ぐびぐび
ちなみに
俺とかどう？
慰めてあげる♡
グイ
あはは～
冗談やめて
くださいよー
ぐい～
近い
今まであんまり
気にしたことなかったけど
他の人は嫌なのに
ちかに
触れられるのは
えー
いいじゃーん
不思議と嫌じゃ
なかったな…
それって
もしかして…
でもさぁ真面目に
やばくない？

え？
幼馴染の男の話！
変なとこ触られたって言ってたじゃん
それにしつこい上にこっちの質問にはだんまりとか
絶対やましいことあるんだよ

もしかして体目的（カラダ）とか…
ドキッ
ムッ
ほんとにそうなのかな…
最低だねそいつ
確かに考えてることはわかんないけど…
別に…そこまで悪いやつじゃ…
ボソボソ
え…まさか早坂さん…

まさかもう
やばいこと
されちゃったり
したの!?
ドキッ
えぇ!?
いっいや
まさか…
だよねー
もしなんか
されたら相談
してよー?
すみません
実はもう2回も
されてます…
とは言えない…
まぁまぁ
今日は花金!
明日は休み!
おおっ
ドンッ
いっぱい飲んで
食べて忘れよー!
……
早坂飲みます!
じゃんじゃんお酒
持ってきてください!!
おおー
もうやけだ!!

早坂さん
大丈夫？
立てる？
もう皆2次会
行っちゃったよ
うーん…
無理れす…
調子に乗って
飲みすぎたかな
頭がふわふわ
する…
そっかぁ
じゃあしょうが
ないよね…
こんな状態じゃ
置いてけないし
介抱してあげるから
どっかホテル入ろっか
はあ…
ホテル…？
ニヤ
ほら
行こう
なんで…
いっ

ガッ
痛ッ!?
ちょっ
いでで!!
え…?
なっ何なんだよ
あんた!!
こいつに
触らないで
もらえますか
ちか…?
どうしてここに…

「幼馴染はもうやめた。」マッサージの指がナカまで深く…(2)

著者　ヤナトミ
発行　スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。